

●学校支援情報●

岡崎むかし館通信

<http://www.city.okazaki.lg.jp/libra/803/p014017.html>

郷土学習のヒントとなる情報を発信します。



まさに薫風緑樹の候、フィールドワークを行うのによい気候となりました。
地域探索に出かけてみましょう！

地域の再発見

野本先生のフィールドノートメモ

地域を歩くー饗庭塩のふるさとを訪ねてー

岡崎名産の八丁味噌に欠かせない材料の一つ、塩。かつてその塩には、吉良の饗庭塩(あいばじお)がもっぱら使われていました。そんなことから最近では岡崎を飛び出し、西尾市の吉良地区を訪れる機会が増えています。こうしてフィールドワークしていると、思わぬ出会いが待っていることがあります。今回はそんな例をお伝えします。

西尾市吉良町にある志葉都神社(通称磯泊天神社=しはとてんじんしゃ)は港の神を祀り、かつては大鳥居の下まで船が着いたという伝承があります。案内をしてくださった地元の方によると、万葉の歌人、高市連黒人(たけちのむらじくろひと)がこの地を詠んだのではないかとと思われる短歌があるそうです。

四極(しはつ)山 うち越え見れば
笠縫(かさぬい)の 島漕ぎ隠る
棚無(たなな)し小舟(をぶね)

高市連黒人は持統天皇の行幸に随行し、三河の地も踏んだといわれ、全国各地に歌碑が建立されています。地元の方に案内されて、神社のすぐ上の津平小学校運動場から四極山が見える場所に向かいました。真下に神社が、その先に海と島、行き交う船が見える風景を前に、ここが万葉集に詠まれている風景とまさしく一致するのではないかと熱く語られていたのが印象に残りました。



志葉都神社



正面に見えるのが四極山？

地域の再発見

(地域を歩くー饗庭塩のふるさとを訪ねてー つづき)

海と山の恵みが上手く交錯し、人々の生活を成り立たせ、しかもその中で万葉のロマンまで現在に伝えている風土の大きさに感激しながら、志葉都神社を後にしました。

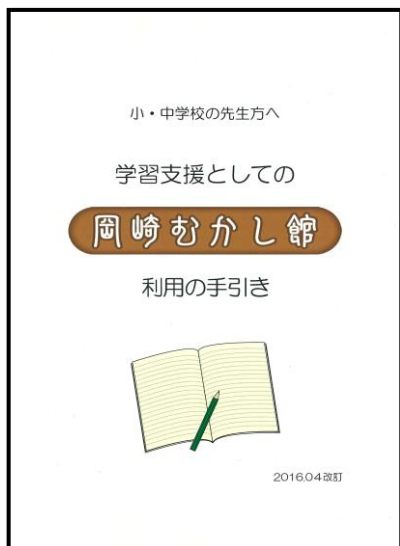
このような予想外の発見から、点と点が線となり、やがて面となって世界が広がってゆくのが、フィールドワークの醍醐味です。さまざまな地域を見て、聞いて、歩くことで、新たな授業づくりのヒントが得られるのではないのでしょうか。【N】



磯泊天神社（しはとてんじんしゃ＝志葉都神社）

むかし館の活動より

岡崎むかし館利用の手引きを改訂しました



ホームページ 図書館交流プラザ りぶら内
> 岡崎むかし館の見学・道具貸出の案内

<http://www.city.okazaki.lg.jp/libra/803/p015436.html>

毎年、「岡崎むかし館利用の手引き」を市立学校の社会科主任の先生にお渡しするとともに、各校での周知をお願いしています。

今回、多くの先生にご利用いただいている「むかし館貸出道具キット」の内容を利用実態に沿って見直しをしました。小学校3年生以外でも活用できる「戦時下のくらしに関する道具」や、キット以外の単品貸出道具リストなどを新たに追加しています。また、引き続きリストにない道具の貸出もご相談いただければ対応可能です。ただし、貸出道具キットは同種類が複数あるわけではないため、ご利用の際は計画的に早めの申請をお願いします。なお「岡崎むかし館利用の手引き」はホームページ上でもPDF形式で掲載しています。

今年度は岡崎市制施行100周年として、様々な行催事が予定されています。むかし館でも、昨年度募集をした岡崎の古い写真を保存・活用する新たな展示造作物を11月頃に設置予定です。その前に、応募写真から約100点選択し、りぶらギャラリーで展示します。ぜひご覧ください！

●編集/発行(隔月) 岡崎市立中央図書館・企画班 平成28年5月
〒444-0059 岡崎市康生通西4-71 tel.23-3167 / fax.23-3165

開催中 展示「岡崎ストーリー ～JR岡崎駅周辺～ 岡崎競馬場・清風軒旅館」
期間：5/19 ～ 7/12

りぶら2階ギャラリー 岡崎市制100周年記念＜未来に残すみんなの岡崎「百」選＞応募写真展示
期間：5/27 ～ 6/6 ※最終日は13：00まで